

SPミニ・ディスクチャージャー 単3、単4型用 (for AA&AAA)

この度はイーグルSPミニディスクチャージャー単3、単4バッテリー用をお買い求め頂き誠にありがとうございます。本品は単3、単4充電電池用の単セル充電器です。独立単セル放電式2A放電、オートカット付き(0.4V/cell)、デュアルファン仕様です。また、単セル用充電バッテリーケース(充電用ジグ)としてもお使い頂けます。
 *本品は充電器ではありません。本品をバッテリーケース(充電用ジグ)としてお使い頂く場合には別途に直列4cell(4.8V)が充電可能なチャージャーが必要となります。

使用上の注意

- 本品使用前には必ずお読みください。
1. 本器を燃えやすい物の近くで使用しないでください。
 2. 本器に水、水分、湿度を与えないでください。
 3. 本器を改造しないでください。
 4. 本器をスペック表以外の目的で使用しないでください。
 5. 本器はNi-CD(ニッカド) & Ni-MH(ニッケル水素) バッテリー専用です。
 6. 本器使用中は、常に作業を監視し、万一バッテリーが異常発熱した場合には直ちに充電を中止してください。

1.お使いになる前に

本器は、工場出荷時には単4バッテリー (AAA)対応となっております。単4にはそのままお使い頂けます。単3へのご使用は、本説明書の「5.単3バッテリー対応への組替え方法」を参考に正しく組み直してください。

2.バッテリーの固定

極性に気をつけ、バッテリーホルダー部に単3又は単4のバッテリーをしっかりと固定します。
 *放電は1~4本で使用可能。充電ジグとしてお使いの場合は4セルのみでお願いします。

3.放電(図2参)

- 1) 放電用入力コードを12V (5A以上)のパワーサプライへ極性に注意し取り付けます。
- 2) 切り替えスイッチをDischarge (右)にスライドすると放電を開始します。
- 3) バッテリーホルダー上部のランプが消えたら放電終了です。
 (放電終了後も入力コードを取り外さなければファンは回り続けます。)

4.バッテリーケース(充電用ジグ)として使う。

本品をバッテリーケース(充電用ジグ)としてお使い頂く場合には別途に直列4cell(4.8V)が充電可能なチャージャーが必要となります。

- 1) 充電用入力コードに充電器を接続します。
 *入力コードはショートをさけるため、図3のように段違いにカット、調整してください。
- 2) 切り替えスイッチをCharge (左)にスライドします。
- 3) チャージャーの設定を4cell、1A以下の設定に合わせます。
 *本器切り替えスイッチをCharge (左)にスライドした場合、バッテリーは直列4cell (4.8V)パックと同様の仕様となります。
 *充電電流値、降下電圧値等につきましてはご使用になるチャージャーの単4、単3バッテリーに対する設定をご覧ください。
- 4) 以下の点を再度確認し、正しければ充電をスタートします。
 - ・充電電流は1A以下に設定されているか?
 - ・充電したいバッテリーに対し、充電器の設定は適切か?
 - ・バッテリーがバッテリーホルダーに確実に固定されているか?
 - ・切り替えスイッチはCharge (左)になっているか?
 - ・充電用入力コードにショートは無いのか?
 - ・燃えやすいもの、可燃性のものが近くにはないか?
- 5) 充電終了したらチャージャーから充電用入力コードを外し、作業終了です。

5.単3バッテリー対応への組替え方法

本器には、4つのバッテリーホルダーが付いていますが、それぞれのホルダーにはプラス側ブロックとマイナス側ブロックを結ぶテンション・シャフトが2本あり、工場出荷時には1本のシャフトに対して2つのスペーサーが通されています(図1-1参)。この計16個のスペーサーを下記のAからGを参考にして取り外す作業を行ってください。

- A. パネル本体の4つの固定ビスを外します。
- B. マイナス側ブロックにある計8箇所のイモネジを緩めておきます。
- C. パネル裏面よりマイナス側ブロックに取り付けられた計8箇所3x8タッピングビスを外します。
- D. パネル表面のマイナス側ブロックから2本のテンション・シャフトを抜き取り、次にそれぞれのシャフトに通されている2つのスペーサーを外します。
 (4つのホルダー共同作業を行います。)
- E. この計16個のスペーサーを取り外し終えたら、マイナス側ブロックをもと通りに戻しますが、使用時にテンションがかかる様にお使いになる単3サイズより少し狭くセットし、イモネジで8箇所固定してください。
- F. パネル裏面よりマイナス側ブロックに計8箇所3x8タッピングビスを締め込みますが、取り付け後スライドができる様、奥まで閉めこんでから約1/4回転ゆるめてください。
- G. パネル本体の4つの固定ビスを閉めこんで完成です。バッテリーがしっかりと固定されているか再確認を行ってください。
 テンションがかかっていない場合は送電ロスや異常発熱の原因となり大変危険です。

図1-1 全体図 +

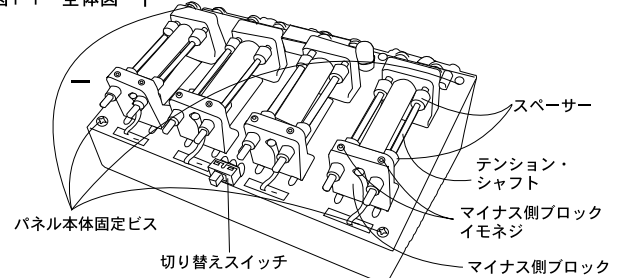


図1-2 入力

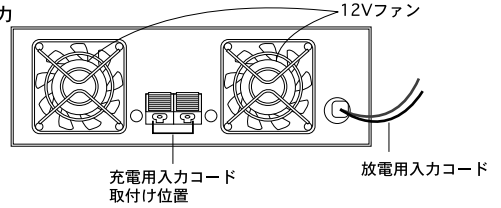


図1-3 パネル裏面

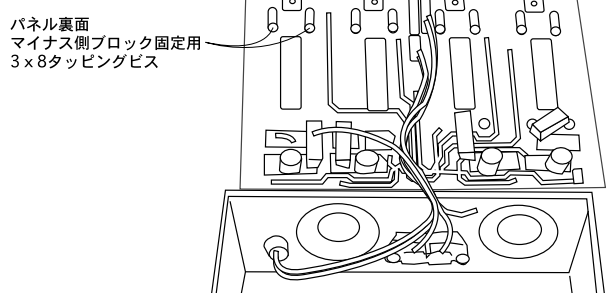


図2

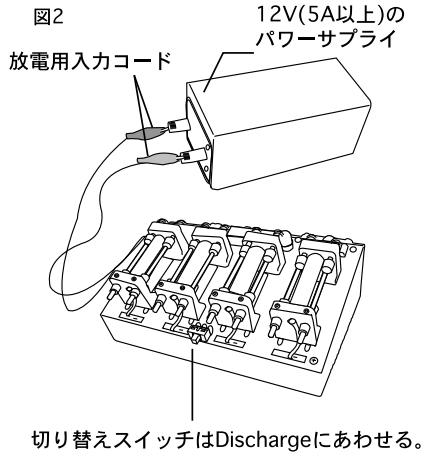
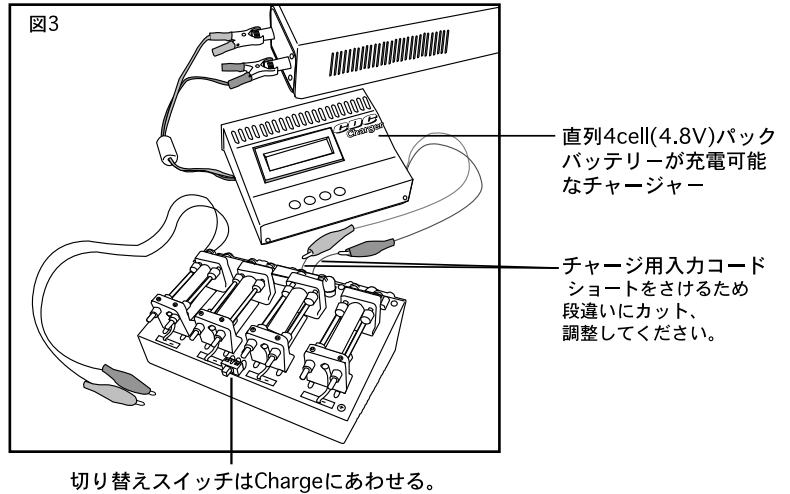


図3



その他、ご質問等がありましたらお気軽に下記サービス・カウンターにお問い合わせください。